

草原のタカ、チュウヒとは

～サロベツのチュウヒを知ろう～



チュウヒは、日本では湿原で繁殖する唯一のタカの仲間です。数が少なく開発により減少したため、2017年、種の保存法に基づく国内希少野生動植物種に指定されました。この会ではサロベツや本州のチュウヒの生息状況について学び、農業開発や風力発電計画があるなかで、サロベツ周辺のチュウヒを保全するためには何をしたらよいかみんなで考えます。

講演

・写真で見るサロベツのチュウヒ

富士元寿彦 (動物写真家)

・中部地方のチュウヒの繁殖状況と保全

平井正志 (日本野鳥の会三重支部長)

・サロベツ周辺のチュウヒの繁殖状況と保全上の課題

長谷部真 (NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク)

対談

・サロベツのチュウヒの保全に向けて

コーディネーター 有山義昭 (稚内自然保護官事務所首席自然保護官)

対談者: 富士元寿彦 平井正志 長谷部真

と き: 2018年10月13日(土) 14:00-16:30

ところ: サロベツ湿原センター

開場 13:30

天塩郡豊富町上サロベツ8662 (道道444号線沿い)

申込・参加費不要

主催: 環境省北海道地方環境事務所 協力: 日本野鳥の会 日本野鳥の会道北支部

問い合わせ: NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク 0162-82-3950

HP <http://sarobetsu.or.jp/> メール hasebe@sarobetsu.or.jp 担当 長谷部